



しかはま自然観察会

のらえもん

2023 年度

No. 13

2023. 12. 24

『 人も 自然も みんな友だち 』

第13回活動 しめ縄づくりともちつき

今年も、みんなでしめ縄飾りを作りました。
のらえもん活動の継続を感謝し、
来年も、
のらえもん、そしてみんなの家族の平穩の願いを込めて、
手を赤くしながら稲わらをねじりました。
その後、
初めて、もちつきもしました。

1, 日 時 : 2023年12月24日 (日)

- ・ しめ縄づくり 12時30分~14時30分
- ・ もちつき 15時 ~17時

2, 場 所 : しめ縄づくり・・・いきいき館ホール
もちつき・・・山口宅

3, 参加者 : しめ縄づくり

総数34

大人 14
中学 1
小学 10
幼児 4
スタッフ 5

もちつき

総数25

大人 10
小学 7
幼児 3
スタッフ 5

5, 活動の様子

○ しめ縄づくり

毎年、この活動への参加者は多いのです。今回は、34名もの参加者です。

そして、皆さんの技術も向上しきてています。

今年は、特に稲束の湿り具合が最高の状態でした。それは、偶然の結果で作られました。

稲束を、一晚夜露で湿らせるつもりでした。が、夜中に雨が降り出しました。

「これはまずいことになったな。稲束がビショビショになってしまう」と、心配していました。ところが、わら束を打って柔らかくしてみると、丁度良い湿り気になっていたのです。

わら全体に湿り気が入り、途中でわらが切れることはありませんでした。
一人一人がしめ縄をよるときは、きれいによりが入りわらクズもほとんど出ませんでした。

結果、みんなのしめ縄は、とてもきれいに仕上がったのでした。

しめ縄がきれいに仕上がれば、あとは飾りをつけるだけです。水引（紅白か金銀）・松（青）・万両（赤）・稲穂の他に今年初めて飾り水引で豪華に仕上げました。

より工夫したしめ縄飾りも見られました。しめ縄を大と小の二つにしたもの、しめ縄の根元と穂先を上下にしたもの、松の葉をたくさん飾ったもの、などです。

1年に1回だけの活動ですが、10年以上継続していると、材料の用意や作り方に工夫が入ってきますね。

のらえもん全体で、少しずつ「進歩」しているということではないでしょうか。

宅間さんのご協力で進められている田んぼ体験活動は、こんなところにも「成果」として現れています。

もう一つ、気づいたことがあります。

それは、会場です。

今までは費用のことがあり、鹿浜五色桜小学校の図工室を借りていました。今回、初めて日曜日のいきいき館ホールを利用させてもらいました。

広く明るく冷暖房があり、椅子・テーブル・ホワイトボードを借りることができます。広い空間はのびのびと活動を進められ、保護者やお友だちとの交流も深まります。その上、日曜日は、のらえもんで使用できます。さらに、駐車場もあります。

また、山口さんの家にも近いのです。

しめ縄ばかりではなく、押し花遊び・化石探し・篆刻などの活動にも広げていき、会員の利便性を高めて行きたいと考います。

6. ふり返りの感想

- しめなわづくりが
たのしかったです。

年長

- しめ縄づくりのさんかは二回目で、前よりだいぶうまくあめ、
とても楽しかったです。
二回目の しめ縄づくり 上達した

新田小4年

- ぜんぶたのしかった
なわがむずかしかった

年長

- しめなわづくりは、楽しかったです。
かざりをつけるところが、楽しかったです。
ぽんぽんが、おきにいりです。

伊興小1年

- たのしかったです。
ちょっとむずかしかった。
しめなわは むずかしかった けどやれた

鹿浜五色桜小2年

- うまくつくれた。
たのしかったです。

鹿浜五色桜小4年

- しめなわ、たのしかったです。

江北小5年

- 毎年参加していますが、毎年忘れてしまい、すいません。
来年も、またよろしくお願いします。
しめ縄で 来年も 気を引きしめて

母

- しめ縄を作るのが、難しかった。
来年は このしめ縄 楽しいな

江北小5年

- むずかしかったけど、楽しかった。
来年も このしめなわで ハッピーだ

江北小6年

- しめなわづくりはめちゃくちゃむずかしくてつかれたけれど、さいごまでできて、うれしかった。
むずかしい しめなわづくり がんばった

舎人第一小5年

- 松やいねにしみがあることがわかった。
らいねんも、さんかしたいとおもった。
しめなわの つくる手のひら まっかっか

加平小5年

- 去年と今年、どちらも稲を2本にわけていた。
やりかたがちがうと、ねじるむきもちがうことがわかった。
花などのかざりや松・実などの意味を知れた。
ゆずだと、おちてしまいそう。
お正月 知る人は知る しめなわよ

王子小6年

- あまり来られなくて、久しぶりに参加できてよかったです。
一年ぶりくらいにやって、助けてもらったりしましたが、完成させられました。
しめ縄で 今年のできごと しめくくる

鹿浜菜の花中2年

- 一年のしめくくりのしめ縄づくり希望を込めてねじる手が熱い
- 親と子のしめ縄づくりは真剣で時々交わす笑顔の言葉
- 暖かく広いホールのいきいき館みんなちがってステキなしめ縄

古高 利男

初めてのもちつき

稲刈りが終わり、ふり返りをまとめているときに、ふっと思いつきました。「もちつき、できないかな？」と。

山口さんに相談すると、「町会の臼と杵は借りられそうだ」と、いうことでした。少しずつ準備が進んでいきました。

○ 12月124日（日）15:00～17:00

○ 山口さんの家

○ 参加者 25名

○ もちつきの材料・道具

・もち米 2kg袋×3 合計6kg 宅間さんのもち米

・ついたもち 3臼

・もちつきの臼と杵は、糰町会から借りました。

・蒸し器は、のらえもんで2セットそろえています。

○ もちのメニュー

・あんこ ・きなこ ・大根 ・醤油

○ 豚汁

温かい豚汁を、山口さんが作ってくれました。

もちを食べた後に、美味しくいただきました。

○ もちつきの様子

しめ縄づくりが終わり、山口さんの家に向かいました。

山口さんと春日さんが、もち米を蒸し臼と杵を温めて待っていてくれました。

いよいよ、のらえもん初めてのもちつきです。

始めの“ねり”は、春日さんがやってくれました。この“ねり”は、米粒が飛び散らないようにするためです。やがて、“ぺったんぺったん”と杵でつき始めました。臼の中のもちをかえす役は、ベテランの渡辺春子さんです。お孫さんが見守る中、あざやかな手さばきを見せてくれました。子どもたちは交代で、“ぺったんぺったん”とつきました。

初めてのもちつきは、どんな感じだったのでしょ。

出来上がったもちは、お母さんたちによってすばやくきなこ・あんこ・だいこんのトレーに入れられました。

あんこもちに人気がありました。そのうち、「醤油がほしい」と声が上がりました。

なるほど、甘いのとしょっぱいのでバランスがとれていました。醤油にのりがあれば、もっとよかったですね。

つき始めると、3臼はすぐに終わりました。

みんないっぱい食べました。残りは、みんなで分け合ってお土産にしました。

山口さんの家に自生しているイチヨウからたくさんのギンナンが穫れ、それもお土産にいただきました。

しめ縄飾りとおもち、きっといい年を迎えられることでしょう。